

## トキワ荘と編集者丸山昭展－丸山昭旧蔵資料から

－トキワ荘 MM コレクション企画 vol.5－

会期：2026 年 10 月 14 日（水）～2027 年 3 月 22 日（月・休）

会場：豊島区立トキワ荘マンガミュージアム 2 階 14 号室、1F 廊下

### 編集者としての丸山昭

作家のベストを引き出すのが仕事で、自分は人前に姿を見せてはならない—そう教育されたと語る丸山（1930-2016）。1953 年、講談社（大日本雄辨会講談社）に入社し、少年・少女漫画誌に携わるなかで、手塚治虫担当としてトキワ荘に通います。やがて『漫画少年』を通してトキワ荘に集った若き漫画家たちと深くかかわっていきました。漫画家をカンヅメにした話から、『まんがのカンヅメ—手塚治虫とトキワ荘の仲間たち』と名付けられた著作もあります。その帯の惹句は、「戦後の初期まんがブームをみごとに演出した裏方（編集者）からの唯一初めてのインサイド・レポート！」でした（1993 年、ほるぷ出版）。

丸山旧蔵の資料の一部は、本ミュージアムに寄贈されています。今回は多くの資料のなかから「トキワ荘」が題名にあるものを展示します。

### トキワ荘の投稿家

丸山資料のなかには、「トキワ荘グループ 投稿家たち」と小さく記された写真があります。写っているのはいずれも青年たち。切磋琢磨という言葉がよく似合います。投稿家とは、『漫画少年』に投稿して掲載され、のちに上京、トキワ荘に暮らした漫画家たちのことです。丸山にとってはまだ若い投稿家であったのでしょう。1996 年に『トキワ荘の青春』として映画化されるとき使われた俳優たちのポーズは、こうした写真に倣ったものでしょう。丸山はこの映画製作にも協力し、資料を所蔵していました。それらも展示します。

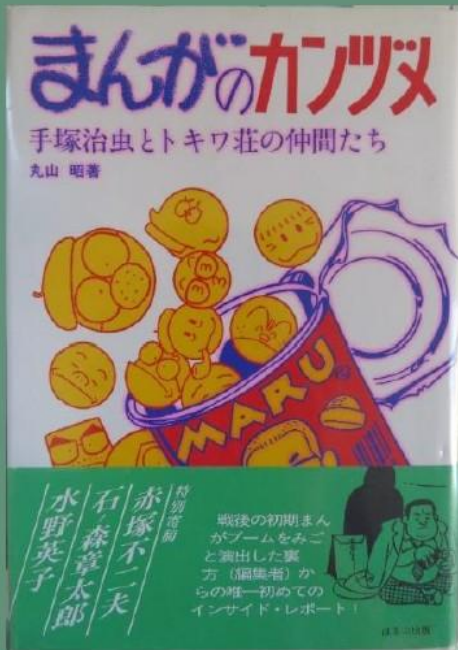
### 丸山資料は初版が多い

今回紹介する資料のうち、漫画家たちの著作はすべて初版です。これは、著者たちが丸山に著作を贈ったことを示しています。石ノ森章太郎、赤塚不二夫、水野英子とは特に親しく、1998 年の『少女クラブ』同窓会で丸山が手にしているのは、「丸さん、ありがとう！」と彼らから贈られた寄せ書きです。トキワ荘が取り壊されてからも、丸山とトキワ荘グループの縁は深かったことを物語っています。

### トキワ荘マンガミュージアムのコレクションとは

漫画家旧蔵の作品・資料として、ともにトキワ荘の作家である永田竹丸とよこたとくお。それに加え、今回は編集者丸山昭資料を初めてご紹介します。

コレクション企画も 5 回目を数え、22 号室で毎月 2 冊ずつ更新している『漫画少年』（デジタル版）のほかにもこのように展示をしています。トキワ荘という空間そのもの、企画展とあわせ、コレクションもぜひ、お楽しみください。



丸山昭著『まんがのカンヅメ』1993年 ほるぷ出版



1998年1月『少女クラブ』同窓会にて石ノ森章太郎、赤塚不二夫、水野英子から贈られた寄せ書きを手にする丸山昭氏

## 開催概要

展覧会名：トキワ荘と編集者丸山昭展—丸山昭旧蔵資料から

トキワ荘 MM コレクション企画 vol.5

会場：トキワ荘マンガミュージアム 2階 14号室、1F 廊下

会期：2026年10月14日（水）～2027年3月22日（月・休）

休館日：月曜日 祝日の場合は翌平日

開館時間：午前10時～午後6時（入館は午後5時30分まで）

観覧料：特別観覧料でトキワ荘マンガミュージアムをすべてご覧いただけます。

大人 500円 小中学生 100円

未就学児、または障がい者手帳をご提示の方（介助者1名まで）は無料

1F企画展示室ではつのだじろう展を11月23日（月・祝）まで開催しています。

関連事業：会期中にギャラリートークを行います。詳しくはHPをご覧ください。

## プレスリリースお問い合わせ先

掲載の写真をお使いになる場合はご一報ください。

広報担当は野口、展示内容に関しては小林までお願いいたします。

〒171-0052 東京都豊島区南長崎 3-9-22 tel 03-6912-7706 ウェブサイト：[www.tokiwasomm.jp](http://www.tokiwasomm.jp)